

令和4年7月29日  
区長会情報交換研修会

# 広域コミュニティ組織化に向けて

---

# 1. 鶴岡市の人口等

## ■ 地域毎の比較①

項目	地域	鶴岡地域	藤島地域	羽黒地域	櫛引地域	朝日地域	温海地域	合計
人口等	合併時 (H17.10.1)	98,401人	11,969人	9,579人	8,376人	5,541人	10,124人	143,990人
	人口 (R4.3.31)	87,281人	9,512人	7,618人	6,771人	3,649人	6,534人	121,365人
	減少率(%)	△11.3	△20.5	△20.5	△19.2	△34.1	△35.5	△15.7
	現在の高齢化率(%)	34.0	38.7	37.2	37.2	44.6	47.6	35.5
単位自治組織の世帯数規模	0~10	2	4	9	0	7	1	23
	11~30	56	26	33	1	18	5	139
	31~50	48	16	17	1	5	6	93
	51~100	52	10	10	12	7	7	98
	101~200	46	4	0	6	1	5	62
	201~	43	1	0	1	0	3	48
	合計	247	61	69	21	38	27	463
拠点施設と職員配置	拠点施設数	/	5箇所	4箇所	/	3箇所	/	/
	職員数	/	11.0人	10.0人	/	6.5人	/	/

# 1. 鶴岡市の人口等

## ■ 地域毎の比較②



### ① 鶴岡地域

世帯数規模	H27		R3	
	組織数	割合 (%)	組織数	割合 (%)
0~10	4	1.6	2	0.8
11~30	46	18.5	56	22.7
31~50	51	20.6	48	19.4
51~100	56	22.6	52	21.1
101~200	48	19.4	46	18.6
201~	43	17.3	43	17.4
合計	248	100.0	247	100.0

### ② 藤島地域

世帯数規模	H27		R3	
	組織数	割合 (%)	組織数	割合 (%)
0~10	2	3.3	4	6.6
11~30	25	41.0	26	42.6
31~50	16	26.2	16	26.2
51~100	13	21.3	10	16.4
101~200	3	4.9	4	6.6
201~	2	3.3	1	1.6
合計	61	100.0	61	100.0

### ③ 羽黒地域

世帯数規模	H27		R3	
	組織数	割合 (%)	組織数	割合 (%)
0~10	9	12.9	9	13.0
11~30	32	45.7	33	47.8
31~50	19	27.1	17	24.6
51~100	9	12.9	10	14.5
101~200	1	1.4	0	0.0
201~	0	0.0	0	0.0
合計	70	100.0	69	100.0

### ④ 櫛引地域

世帯数規模	H27		R3	
	組織数	割合 (%)	組織数	割合 (%)
0~10	0	0.0	0	0.0
11~30	1	4.8	1	4.8
31~50	1	4.8	1	4.8
51~100	12	57.1	12	57.1
101~200	6	28.6	6	28.6
201~	1	4.8	1	4.8
合計	21	100.0	21	100.0

### ⑤ 朝日地域

世帯数規模	H27		R3	
	組織数	割合 (%)	組織数	割合 (%)
0~10	6	15.8	7	18.4
11~30	18	47.4	18	47.4
31~50	5	13.2	5	13.2
51~100	8	21.1	7	18.4
101~200	1	2.6	1	2.6
201~	0	0.0	0	0.0
合計	38	100.0	38	100.0

### ⑥ 温海地域

世帯数規模	H27		R3	
	組織数	割合 (%)	組織数	割合 (%)
0~10	1	3.7	1	3.7
11~30	5	18.5	5	18.5
31~50	4	14.8	6	22.2
51~100	7	25.9	7	25.9
101~200	7	25.9	5	18.5
201~	3	11.1	3	11.1
合計	27	100.0	27	100.0

## 2. 鶴岡市地域コミュニティ基本方針（平成25年3月策定）



### 基本方針

市民がまちづくりの主演として、個性あふれ豊かさを実感できる  
地域社会を築く地域コミュニティの構築



### 目指すコミュニティ像

- ① 笑顔であいさつを交わす心の通った地域コミュニティ
- ② より良い地域環境を築くため、  
皆が力を合わせる地域コミュニティ
- ③ **地域課題の解決に向け、**  
**住民が主体的に取り組む確かな地域コミュニティ**
- ④ 地域ごとの異なる文化や歴史を尊重し、  
個性あふれる地域コミュニティ

## 2. 鶴岡市地域コミュニティ基本方針（平成25年3月策定）

### ■ 広域的なコミュニティ組織の目指す姿

#### 規模

- ・ 概ね小学校区や地区公民館などの区域

#### 役割

- ・ 住民と行政の繋ぎ役
- ・ **単位自治組織等で取組むことが難しい広域的課題の解決**
- ・ 生涯学習の推進、地域資源を活用した地域づくり、災害に強い地域づくり
- ・ **単位自治組織と密接に連携した機能補完**
- ・ 地域活動のコーディネート機能の発揮

まちづくり活動の主体となる地域コミュニティ



## 2. 鶴岡市地域コミュニティ基本方針（平成25年3月策定）

### ■ コミュニティ組織に望まれる取組や機能

#### ① 地域課題の把握と解決に向けた取組み

- ・ 地域の課題を整理し、取組みに反映するため、住民の声を反映した**地域ビジョンづくり**。
- ・ **地域課題の解決に向け**、地区内の単位自治組織や、各種団体、人材等の地域資源を生かした取組みや、必要に応じて行政と協調した事業の実施。

#### ② 単位自治組織の支援や機能の分担

- ・ 少子高齢化に伴い、今後縮小傾向が見込まれる**単位自治組織の機能を補完**したり、より積極的に機能分担を進めたり、適切な支援やアドバイスをしたりすることができる体制づくり。

#### ③ 市民活動の育成やコーディネート

- ・ 地域内でそれぞれの目的のため活動を行うサークルやPTA等の組織や団体の設立の支援や、活動しやすい環境の整備。
- ・ 組織や団体相互の交流や他の地域活動への関わり合いを設けるなどし、**住民活動の場を広げるコーディネート機能**の発揮。

## 2. 鶴岡市地域コミュニティ基本方針（平成25年3月策定）

### ■ 行政による主な取組

本市の自治組織は、50世帯以下で構成される比較的小規模な組織が過半を占め、人口減少や高齢化の影響を受けやすいと考えられる。

このため、単位自治組織の機能を補完するとともに、これからの創造的な地域づくり活動などの中核的な担い手として、広域的なコミュニティ組織を設置・育成するなど、重層的な地域コミュニティの構築を推進する。

#### ① 広域的なコミュニティ組織づくりと育成支援

- ・ 少子高齢化の進行等により縮小傾向が見込まれる単位自治組織の機能を補うとともに、地域づくりや課題解決など創造的な活動を担う「**地域自治**」の要として、小学校区や地区公民館等の区域を単位とした**広域的なコミュニティ組織づくりを推進**する。

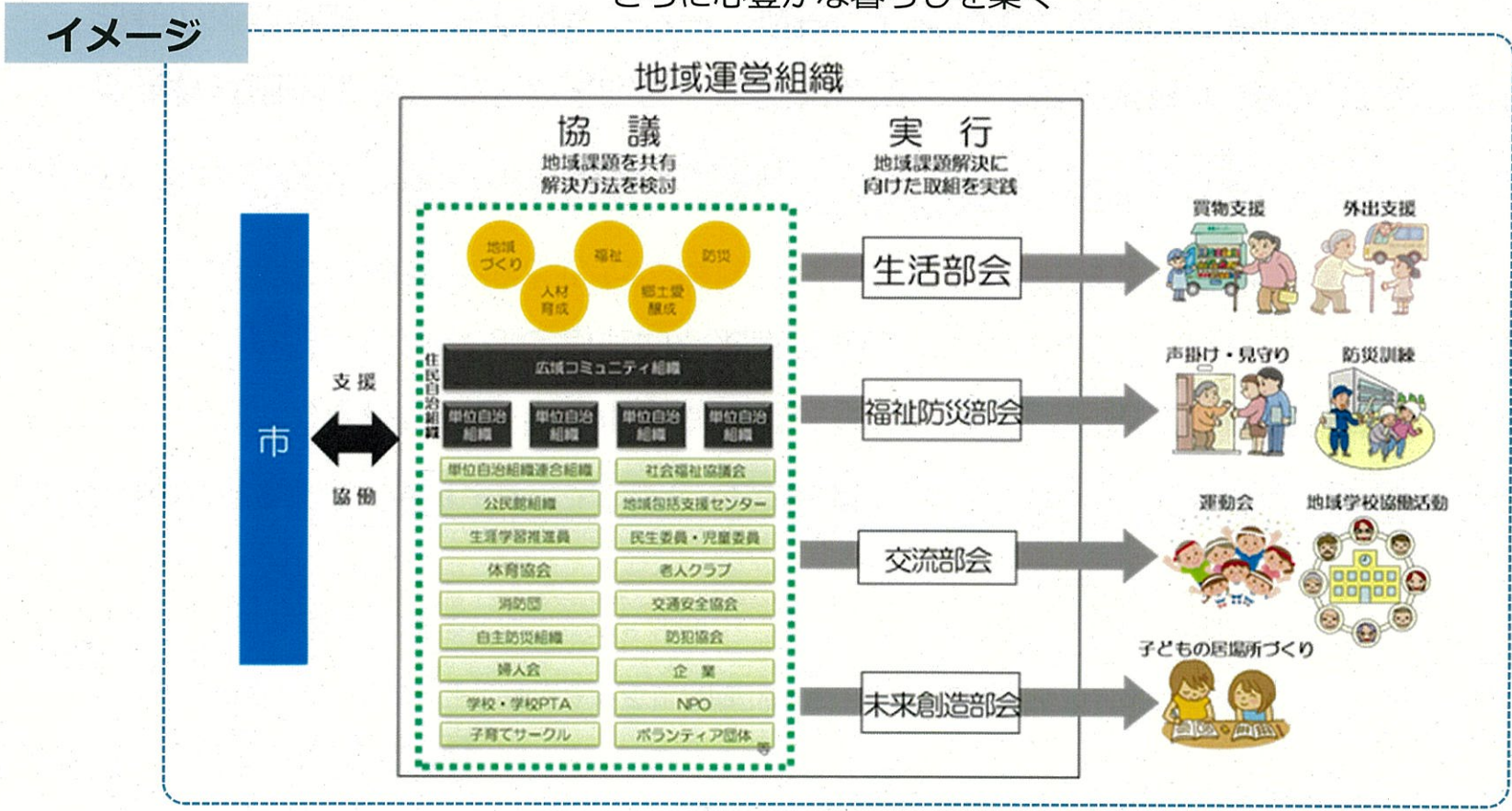
#### ② 広域的なコミュニティ活動の拠点の整備

- ・ 社会教育施設である地区公民館は、広域的なコミュニティ組織が管理する総合的な地域活動の拠点施設「**地域活動センター（仮称）**」として、発展的に再編する。
- ・ **新たな拠点施設の管理運営は、広域的なコミュニティ組織が担い、自ら取り組む**生涯学習事業をはじめ、福祉、防災、**地域づくり活動等の拠点**となることを目指す。
- ・ なお、従来からの公民館活動のノウハウについては、地域活動センター（仮称）の活動に引き継がれるよう配慮する。

### 3. 第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画（令和3年3月策定）

#### ■ 目指す5年後の方向性（令和7年度）

地域特性を活かした住民主体による持続可能な地域づくりを進め、  
住民の安全・安心な暮らしを確保するとともに、  
さらに心豊かな暮らしを築く



※このイメージ図は、地域コミュニティの中核を担う住民自治組織と、地域の各種関係団体や企業、個人等が連携・協力しながら、また、市は各種支援と情報提供等により支えながら、地域が一体となって地域課題の解決等の地域づくりに取り組み、目指す5年後の姿に向かうことを表したものです。



## 4. これまでの検討結果

### 《櫛引地域審議会の提言》（平成25年度）

- ・平成24年度に櫛引地域審議会において議論した結果、広域コミュニティ組織を目指すのであれば櫛引公民館（現櫛引生涯学習センター）を拠点とした中学校区単位の広域コミュニティであり、その組織が地域の住民代表的な組織として意思決定を行い、各単位集落を補完し、住民主導の独自の事業を展開することが望ましいと平成25年度に提言が出されました。

### 《櫛引地域広域コミュニティの検討結果》（平成28年度）

- ・平成27年度に策定された地域コミュニティ基本計画に基づき、櫛引地域の広域コミュニティ組織について、検討会を設置し、組織のあり方を検討した結果、平成28年度に、組織の方向性は「櫛引地域の広域コミュニティ組織は中学校区ひとつ」とし、組織の設置時期は「設置時期の具体的な目標年度は設定しない」とすることとなりました。

### 《生涯学習分野の組織化》（平成30年度）

- ・生涯学習と公民館活動等との連携事業や、事業を通じた人材育成は住民主体の活動として実現可能と判断し、平成30年度に地域内の住民団体や社会教育関係団体等からなる櫛引生涯学習振興会が組織され、櫛引生涯学習センターの指定管理者となりました。

## 5. 単位自治組織では取り組みが困難になると予想される地域課題

### ■ 防災分野

#### 研 修

- ・ 櫛引地域自主防災会合同研修会  
※ 3小中学校を避難所とした広域的な自主防災研修

#### 日 時

- ・ 令和4年6月29日（水）14：00～ 櫛引生涯学習センター

#### 参 集

- ・ 各地区代表、庁舎職員（避難所運営担当）

#### 内 容

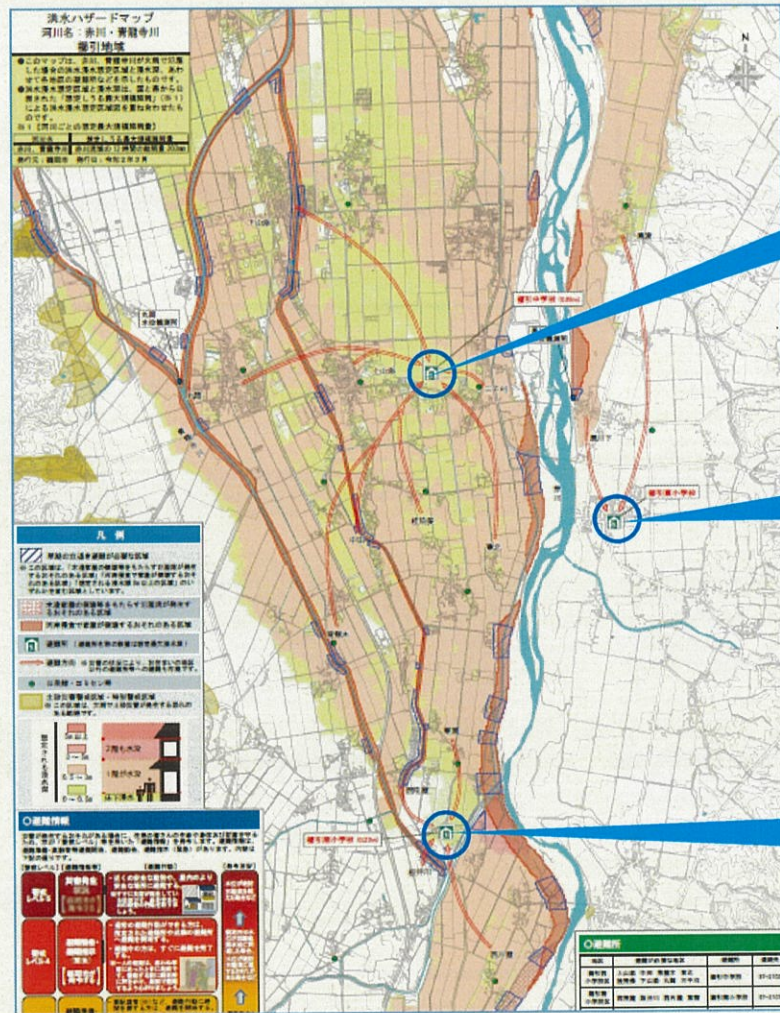
- ・ 避難所開設、運営研修
- ・ 実際の災害（地震）を想定したHUGゲームの実施
- ・ 参加者を4グループに分け各避難所の開設と運営をシュミレーション
- ・ 「自然災害について」地域防災アドバイザーによる講演



# 5. 単位自治組織では取り組みが困難になると予想される地域課題

## ■ 防災分野

- ・ 2次避難所（小中学校） 毎に広域自主防災組織を立ち上げ、それぞれの防災計画を策定。



### ① 西学区（櫛引中学校）

#### 計画対象地区

上山添、中田、常盤木、東北、桂荒俣、下山添、丸岡、三千列

#### 計画策定主体

**櫛引西部自主防災会**  
(上記8地区で組織)



### ② 東学区（櫛引東小学校）

#### 計画対象地区

黒川上、王祇、黒川中、黒川下、宝谷、梳代、田代、馬渡

#### 計画策定主体

**櫛引東部自主防災会**  
(上記8地区で組織)



### ③ 南学区（櫛引南小学校）

#### 計画対象地区

西荒屋、西片屋、板井川、東南、松根

#### 計画策定主体

**櫛引南部自主防災会**  
(上記5地区で組織)

➡ **避難所開設・運営研修を重ねることで、徐々に「広域」の意識が醸成されると期待！**

## 5. 単位自治組織では取り組みが困難になると予想される地域課題

### ■ 福祉分野



H17.10.1

- ・ 1市4町1村が合併して新鶴岡市となる。



- ・ 合併前の4町1村毎に地域庁舎を設置。



- ・ 現在、各庁舎とも3課体制。



H17.10.1

- ・ 1市4町1村の社会福祉協議会が合併して新鶴岡市社会福祉協議会となる。



- ・ 合併前の4町1村毎に地域福祉センターを設置。



- ・ 専任の職員を配置。



- ・ 合併前の鶴岡市では、コミセン毎に住民主体で立ち上げた学区（地区）社協があり、合併後も継続。住民主体で立ち上げたため、市社協の下部組織にはなっていない。



- ・ ほとんどの組織に専任の職員はいない。
- ・ 市社協本部（地域福祉課）にそれぞれの学区（地区）社協の担当者（兼務）がいる。
- ※ 1・2・4・6学区及び上郷地区は、学区（地区）社協を広域コミュニティ組織に統合。

## 5. 単位自治組織では取り組みが困難になると予想される地域課題

### ■ 福祉分野

機 関	計 画	備 考
鶴岡市	鶴岡市地域福祉計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ つるおか地域福祉プラン2020 (R3.3策定)</li> <li>・ 計画期間：令和3年度から5年間</li> </ul>
社会福祉協議会	鶴岡市地域福祉活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ おだがいさまのまちづくり計画 2020 (第3次鶴岡市地域福祉活動計画) (R3.6策定)</li> </ul>
地域福祉センター	地域支え合いプラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域福祉委員会 (行政や区長会、各種団体で構成) が策定。</li> <li>・ 地域福祉センターが設置されているエリアの地域支え合いプランは現在第2次のプランとなっている。</li> </ul>
学区 (地区) 社協		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学区 (地区) 社協が設置されているエリアではようやくプランが作成された。</li> </ul>

↓

↓

5年の遅れが生じている

## 5. 単位自治組織では取り組みが困難になると予想される地域課題

### ■ 福祉分野

課題として

榑引地域には広域コミュニティ組織がないことから、

**「広域的に福祉を考える」機会が他の地域と比べて少ない**



## 5. 単位自治組織では取り組みが困難になると予想される地域課題

### ■ 地域づくり

#### 《課題として考えられること》

- ・ 課題として聞こえてくるのは「**役員のなり手不足**」

#### 《原因として考えられること①》

- ・ 年金の支給開始年齢が65歳となっているため、国は65歳まで働きたいと思っている方の希望を叶えることを企業の義務とした。



#### 高年齢者雇用安定法の改正（R3.4.1施行）

65歳までの雇用確保  
(義務)



70歳までの就業確保  
(努力義務)

企業側にとっては人手不足の状態が続いているため、  
67歳まで働ける企業や、  
働く意欲があれば70歳まで働けるようにしている企業も。

## 5. 単位自治組織では取り組みが困難になると予想される地域課題

### ■ 地域づくり

#### 《課題として考えられること》

- ・ 課題として聞こえてくるのは **「役員のなり手不足」**

#### 《原因として考えられること②》

- ・ **意識の変化**

#### ～ 令和元年度実施 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（※）の結果 ～

- ・ 地域住民の有志によるグループ活動に「参加者として参加してもよい」… **50.1%**
- ・ 地域住民の有志によるグループ活動に「お世話役として参加したくない」… **55.2%**
- ・ よく会う友人、知人との関係 … 「近所・同じ地域の人」の割合が一番**低く**、  
「仕事での同僚・元同僚」の割合が一番**高い**

※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査：3年ごとに策定することになっている介護保険事業計画を策定する際に、実施することが指示されている調査。上記の調査結果は、無作為に抽出した4,000人のうち（2,870人から回答有）65歳～74歳の方1,465人の結果。



## 6. 広域コミュニティ組織の職員数の検討

### ■ 各地域毎の現状

地域 項目	鶴岡地域	藤島地域	羽黒地域	櫛引地域	朝日地域	温海地域
人口 (R4.3.31)	87,281人	9,512人	7,618人	6,771人	3,649人	6,534人
拠点施設数		5箇所	4箇所		3箇所	
職員数		11.0人	10.0人		6.5人	

※藤島地域：「藤島地区地域活動センター」「八栄島地区地域活動センター」「長沼地区地域活動センター」「東栄地区地域活動センター」「渡前地区地域活動センター」

※羽黒地域：「手向地区地域活動センター」「泉地区地域活動センター」「広瀬地区地域活動センター」「羽黒第四地区地域活動センター」

※朝日地域：「朝日中央コミュニティセンター」「朝日南部コミュニティセンター」「大網地区地域交流センター」

## 6. 広域コミュニティ組織の職員数の検討

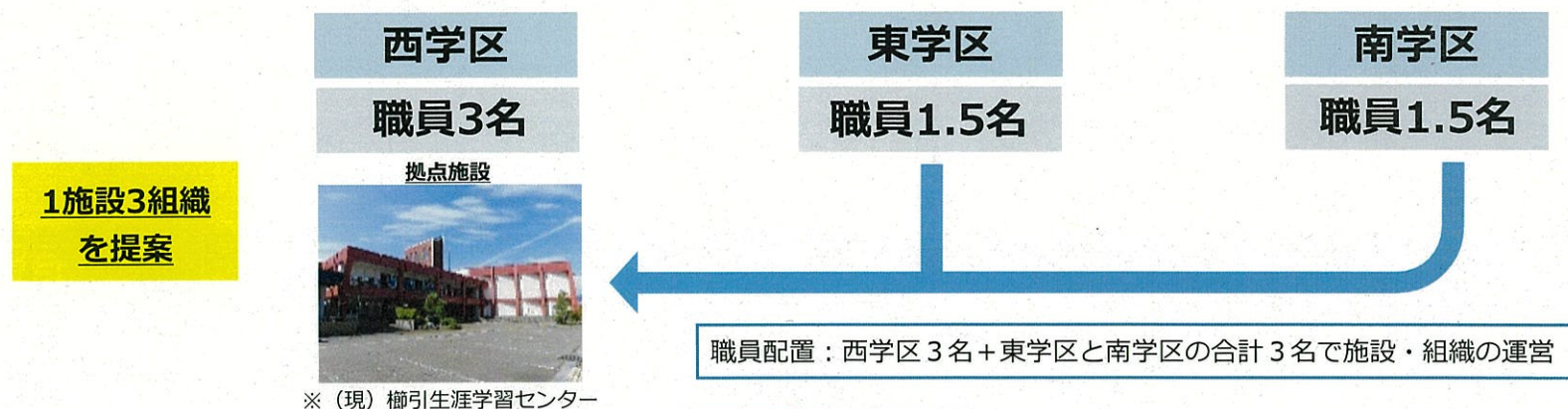
### ■方向性

#### コミュニティ推進課の方針

- ・ **「1拠点施設に職員3名」**

#### コミュニティ推進課との検討結果

- ・ 西学区の拠点施設を「櫛引生涯学習センター」として職員3名を配置し、そこに東学区、南学区の広域コミュニティ組織が同居する形をとり、1.5人ずつ計3名の職員を配置することを提案した。（3学区合計6名）



#### コミュニティ推進課の見解

- ・ 拠点施設は物理的な建物をいうので、櫛引生涯学習センターに職員3名を配置することに。ただし、広域コミュニティ組織でやりたいことが明確で、そのために職員の加配が認められれば、3名+aもありうる。

## 6. 広域コミュニティ組織の職員数の検討

---

### ■ 方向性

「+a」獲得のために何をすべきか

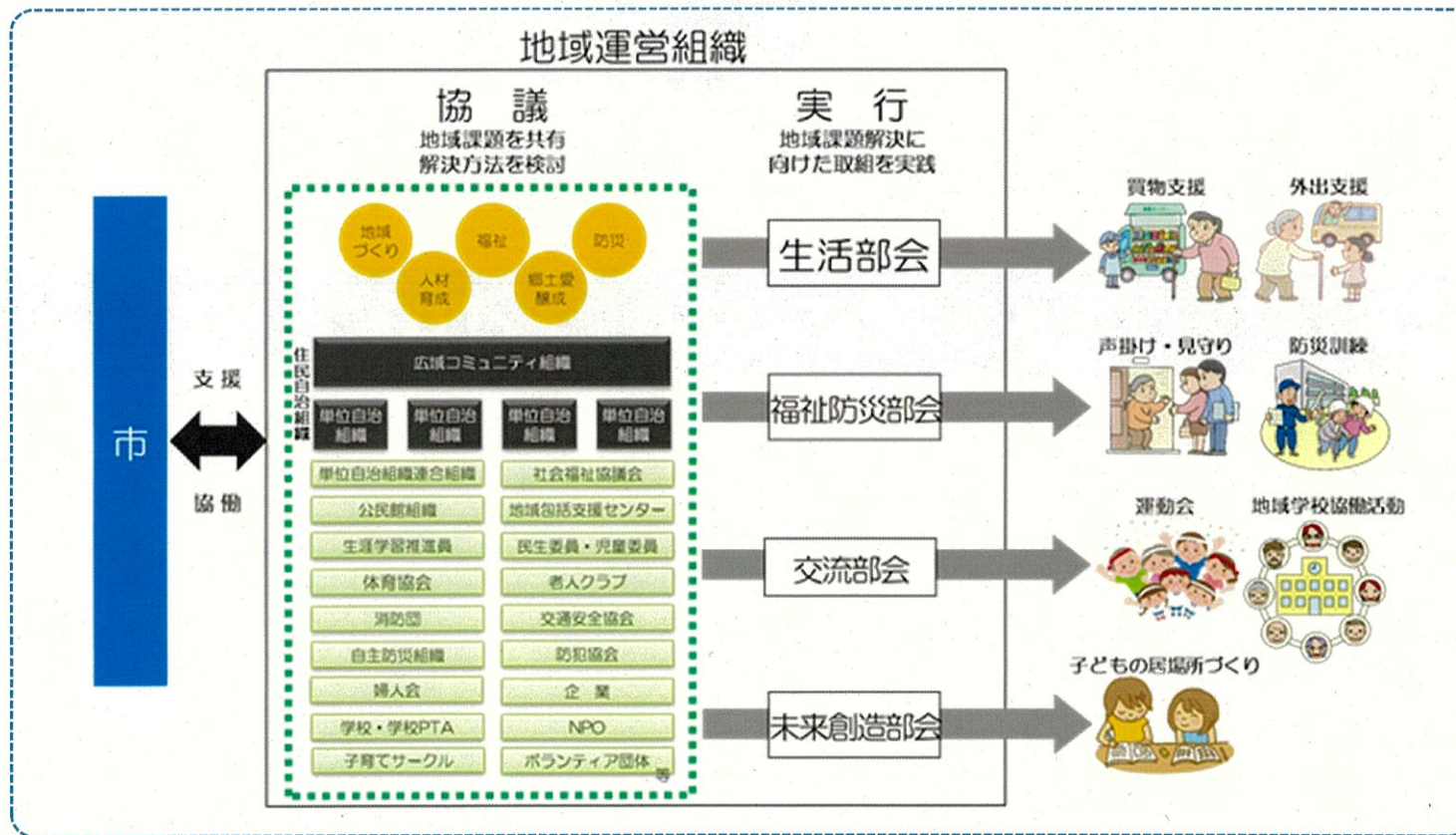


# 7. 広域コミュニティ組織のイメージ

## ■ 第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画 (令和3年3月策定)

### 《目指す5年後の方向性》 (令和7年度)

地域特性を活かした住民主体による持続可能な地域づくりを進め、住民の安全・安心な暮らしを確保するとともに、さらに心豊かな暮らしを築く



※このイメージ図は、地域コミュニティの中核を担う住民自治組織と、地域の各種関係団体や企業、個人等が連携・協力しながら、また、市は各種支援と情報提供等により支えながら、地域が一体となって地域課題の解決等の地域づくりに取り組み、目指す5年後の姿に向かうことを表したものです。

## 8. ゴールに辿り着くには

### ■今後の進め方

① 器（組織）を作ってから、  
その後で中身（何をするか）  
を決める。

② 中身（何をするか）を  
決めてから、  
その後で器（組織）を作る。



②の方法でゴールを目指したい



組織の目的をしっかり理解することが重要

### 理由

- ・ 広域コミュニティ組織化したら、元に戻ることはできない。また、広域コミュニティ組織化したことの成果が問われることになる。

## 9. 何から始める？

---

### ■ 先進事例に学ぶ

広域コミュニティ組織ができる前と後では何がどう変わるのか？

まずは、先進事例を学ぶことから始めてはどうか？

